



Insights for IT Heroes  
第 1 号

## IT 担当の皆さま 皆さまの課題を 知り尽くしている インテルがサポート いたします

IT を取り巻く環境が日進月歩で変化する中、日々その変化への対応を迫られている IT 担当者にとって最も重要な課題は何かということ、インテルは十分理解しています。スタートアップ企業であってもフォーチュン 500 の企業であっても、「生産性を低下させず、またコストを抑えつつチームのネットワークを安全に運用する」という IT 担当者が直面する課題に違いはありません。

インテルはこのたび、日々奮闘されている IT 担当の皆さまのお役にたてるよう、ニュースレター「Insights for IT Heroes」の配信を開始いたします。本ニュースレター・シリーズでは、IT 業界における PC テクノロジーの能力と重要性についての最新情報を取り上げていきます。インテルの豊富なリサーチや専門知識と、業界トップの IT 担当者からのインサイトを織り交ぜ、充実した内容をお届けします。さまざまなヒントや視点を提供し、IT 担当者の皆さまにすぐに役立つ情報だけでなく、将来的に展望についてもご紹介します。

メール購読のご登録は[こちら](#)

### INSIGHTS FOR IT HEROES 第 1 号のハイライト

- 第 11 世代インテル® vPro® プラットフォームの新しいセキュリティー機能は、社内での研究、ハッカソン、過去のセキュリティー・インシデントからの教訓を参考に開発。
- リモート管理機能、セキュリティー、接続性、生産性は引き続き IT 担当者の最優先事項。同時に、IT 担当者のセキュリティーを担保することも重要。
- 中小規模の企業は、事業運営を継続させ、IT 運用管理者が最先端のセキュリティー・イノベーションを使用できるように、IT チームが使用している現在の PC デバイスから、新しいデバイスへの段階的な移行を検討することが必要。

新型コロナウイルス感染症、全世界的なロックダウン、リモートワーク、ネットワークの分散化など、2020年から2021年にかけてさまざまなことが起こり、IT担当者は日々の対応に追われました。

リモートワークで働いている全従業員に対するサポート、セキュリティ、管理を迅速に行わなければならない、事業運営がスムーズに継続されるように、各従業員が必要とするコラボレーション・ツールやアプリケーションの導入も求められました。また、分散した従業員とネットワークとの接続を維持しなければなりません。その上、これらすべてを限られた予算と厳しい時間の制約の中で成し遂げなければならなかったのです。

IT担当者の皆さまはこの逆境を切り抜けてきました。従業員のために仕事ができる環境を整えてきました。ネットワークやデータの安全も確保してきました。その甲斐あって、事業継続が行えています。

世界はこのパンデミックをコントロールしつつあるかもしれませんが、IT部門はまだ分散状態のPCの安全確保と管理を、従業員の生産性やユーザーの使い勝手を損なわずに行う必要があります。

インテル® vPro® プラットフォームは、要求の厳しいビジネス・ワークロードのために特別なチューニングとテストを行い開発された、革新的なテクノロジーを統合し、内蔵しています。

14年間にも及ぶ開発、検証、複数の業界パートナーシップの幅広い取り組みを経て、インテル® vPro® プラットフォームは柱となる4つの主要領域でITプロフェッショナルのニーズに応えるよう設計されました。

## パフォーマンス、セキュリティ、管理性、安定性を 1つのPCプラットフォームに統合



### プロフェッショナル 向けのパフォーマンス

インテル® vPro プラットフォームで構築された超軽量ノートブック PC から高性能ワークステーションまで、幅広いラインナップの PC を従業員に支給すれば、現代のプロフェッショナルのニーズに合わせて調整された業界をリードするパフォーマンスを実現でき、効率性が向上します。



### 多層構造セキュリティ

ソフトウェアだけでなく、セキュリティには、OS 下に追加された内蔵の保護機能、アプリケーションにおけるデータ・セキュリティ、さらに高度な脅威検出機能などが含まれ、インテル® vPro® プラットフォームは、包括的で多層構造のセキュリティ機能を提供します。



### 管理性<sup>1</sup>

インテル® vPro® プラットフォームなら、企業のファイアウォールの外側において起動しない場合でも、IT 担当者はネットワークに接続された PC の発見、修復、保護をリモートで実行できます。



### 予測可能な安定性

要求の厳しい設計要件と厳密なテストにより、インテル® vPro® プラットフォームで構築されたすべての PC 製品は、よりスムーズな資産 PC 管理に向けた、信頼性の高い安定した基盤が提供されているため、安心して拡張ができます。

<sup>1</sup> ネットワーク接続が必要；Wi-Fi のアウトオブバンド管理には既知のネットワークが必要です。詳細については、[www.intel.co.jp/vpro](http://www.intel.co.jp/vpro) をご覧ください。実際の結果は異なる場合があります。

インテルと業界リーダー企業による何千時間に及ぶ厳密な検証により、インテル® vPro® プラットフォームに構築されたデバイスはすべてビジネス向けの標準となっています。

**成果：**インテル® vPro® プラットフォームには、従業員の生産性向上、ビジネスデータのセキュリティ確保、重要なデバイスのリモート管理、信頼性の高いプラットフォームでの資産 PC の組織的構築を可能にするツールが備わっています。

Insights for IT Heroes の第 1 回では、インテルの副社長 兼 ビジネス・クライアント・プラットフォーム事業本部 事業本部長であるステファニー・ハルフォードのインタビューが掲載され、IT チームが今現在直面している問題について、彼女の見解やトップレベルの IT プロフェッショナル向けに設計されたインテル® vPro® プラットフォームを使用するメリットが紹介されています。

### インタビュー：

インテル副社長 兼 ビジネス・クライアント・  
プラットフォーム事業本部  
事業本部長  
ステファニー・ハルフォード



### 多層構造のセキュリティについて

インテルの製品において、セキュリティはインテルが最も重視する優先事項の 1 つです。インテルは製品にセキュリティを組み込んでおり、顧客やテクノロジー業界のほかの企業にも同様の対応を勧めています。実際に、世界で最もセキュアなテクノロジー製品の設計、製造、販売に尽力しています。

インテルはさまざまな方法でこれを推進しています。例えば、脆弱性をプロアクティブに見つけ出し、問題が発生する前に対応できるように取り組んでいます。そして、[Bug Bounty Program \(英語\)](#) などのさまざまな取り組みにインテル社内のセキュリティ・リサーチャーや学術界メンバーを起用しています。3月に発表されたインテルの「[2020 Product Security Report \(英語\)](#)」によると、昨年見つけた 231 の共通脆弱性識別子 (CVE) のうち 109 がインテル社員により社内で見つけ出され、対処された 231 の脆弱性の中で実際の攻撃に使用されたものはありませんでした。

インテルはできる限り予測的かつプロアクティブであることを目標としており、これがインテル® vPro® プラットフォームの設計を推進した大きな理由の 1 つです。このビジネス向けに構築された PC プラットフォームは、OS 内および OS の上下のレイヤーに対する専用の保護機能を備え、すぐに利用できます。各組織は、ハードウェア、BIOS/ファームウェア、仮想マシン (VM)、OS、アプリケーションの各レイヤーでセキュリティを必要としています。これらすべてを、インテル® vPro® プラットフォームでのみ利用可能な[インテル® ハードウェア・シールド](#)により実現できます。

「インテルはできる限り予測的かつプロアクティブであることを目標としており、これがインテル® vPro® プラットフォームの設計を推進した大きな理由の 1 つです」

ソフトウェアだけでは、デジタル・セキュリティー、安全性、プライバシーを狙うランサムウェア、クリプトマイニング、メモリー攻撃などの新種のサイバー攻撃に対応できません。すべてのセキュリティー・ソリューションの基盤となるのはハードウェアです。これが、インテルがハードウェアを基盤としたセキュリティー・テクノロジーのイノベーションを推進している理由です。

インテル® ハードウェア・シールドには、AI をベースとしたシリコンレベルの脅威検出機能である[インテル® スレジット・ディテクション・テクノロジー \(インテル® TDT\) \(英語\)](#) が含まれ、メモリー・スキャンニング、クリプトマイニング、ランサムウェア検出を GPU にオフロードすることで、システム性能を低下させずにセキュリティー保護を提供します。

インテルはまた、モバイルデバイス用インテル® vPro® プラットフォーム向けの[インテル® コントロールフロー・エンフォースメント・テクノロジー \(インテル® CET\) \(英語\)](#) を発表しました。制御フロー・ハイジャック攻撃はシステムメモリーを狙ったマルウェア攻撃の中でも最も危険な攻撃の 1 つとして急速に台頭しています。インテルのエンジニアは、長い間ソフトウェアのみのソリューションでは対応できなかったこのクラスの攻撃の撃退を支援する画期的なテクノロジーを開発しました。<sup>2</sup> インテル® CET は、ユーザー体験にほとんど影響を与えないハードウェア統合型保護で、制御フロー・ハイジャック攻撃による正規コードの不正使用からの防御を提供します。

## 管理性について

コロナ禍において IT 部門全体を管理することは、IT 担当者にとって、運営面でもモラル面でも難しい課題となりました。特に病院やヘルスケア関連企業の現場での仕事に関しては厳しい状況に置かれました。現状、新型コロナウイルス患者を治療している病院に自分のスタッフを派遣したいと思う IT 担当者は皆無です。出張サポートはコストが高すぎます。突如として、このような遠隔地への IT 担当者の[派遣に係る安全性とコスト \(英語\)](#) が、IT 担当者の最優先事項となりました。しかし同時に、非常に重要な仕事に従事しているエッセンシャル・ワーカーを支援し、彼らの PC システムを円滑かつ安全に稼働させる必要にも迫られています。

[リモート管理機能](#)は IT 担当者にとって便利でコスト効率や健全性の高い選択肢になりつつあります。この機能により、システムやデバイスまでの距離にかかわらず、迅速にシステムにアクセスして、管理やパッチ適用を実行できます。システムが有線またはワイヤレスであっても、ファイアウォールの内側でも外側でも、起動しないときでさえ、リモート管理が可能です。これらのセキュリティー・パッチにより、TCO の低減およびすべてのデバイスとシステムの保全が可能になります。また、IT 部門によるシステムのリモート修復、復旧、再稼働を可能にします。このようなワイヤレスのリモート管理はインテル® vPro® プラットフォーム・ベースのシステムでのみ利用可能です。<sup>3</sup>

<sup>2</sup> インテル® コントロールフロー・エンフォースメント・テクノロジー (インテル® CET) は、ジャンプ/コール指向プログラミング (JOP/COP) による攻撃手法とリターン指向プログラミング (ROP) による攻撃手法からの保護を支援するために設計されました。これらの攻撃はメモリーの安全性に対する問題として知られているマルウェアで、ZDI が公開している脆弱性の半分以上を占めています。詳しくは、[www.intel.co.jp/11thgenvpro](http://www.intel.co.jp/11thgenvpro) をご覧ください。実際の結果は異なる場合があります。

<sup>3</sup> 薄型軽量の Windows 搭載 PC での、インバンドのソフトウェア・ベースのリモート管理機能、アウトオブバンドのハードウェア・ベースのリモート管理機能およびクラウドベースのサポートに関する 2020 年 12 月 IQActive による調査 (インテルによる委託) で測定。AMT はネットワーク接続が必要; Wi-Fi のアウトオブバンド管理には既知のネットワークが必要です。詳細については [www.intel.co.jp/11thgenvpro](http://www.intel.co.jp/11thgenvpro) を参照してください。実際の結果は異なる場合があります。

インテル® エンドポイント・マネジメント・アシスタント (インテル® EMA) は、[インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー \(インテル® AMT\) \(英語\)](#) を利用して、各組織がモバイルシステム用にクラウドを介した有効化を可能にするインテル® vPro® プラットフォーム上のソフトウェア・ツールです。最近ではリモートでの実装のしやすさが理由で、特にサービス・プロバイダーやソリューション・プロバイダーの間で、これらリモート管理機能への関心が急激に高まっています。

## プロフェッショナル向けのパフォーマンスについて

在宅勤務にはトラブルがつきものです。接続に不具合が生じたり、後ろで犬が吠えたり子供が騒いだり、ビデオ会議が妨害されてしまう経験をしたことのある人も多いでしょう。

これでは従業員と IT 部門の双方がストレスを感じてしまいます。そこでビジネスクラスのパフォーマンスをすぐに利用できるようにインテル® vPro® プラットフォームが開発されました。インテル® vPro® プラットフォームで構築される PC は、ビジネスに不可欠なワークロードへの対応、従業員の生産性の最大化、データの迅速な分析、容易な接続、バッテリー持続時間の向上を実現し、各組織の業務が最高の状態で行われることを可能にします。これらの機能により、生産性を大幅に向上し、自分ではコントロールできない多くの問題を軽減できます。

例えば、最新のインテル® vPro® プラットフォームでは、現在の混みあった Wi-Fi 環境向けに最適化された最新のインテル® Wi-Fi 6/6E (Gig+) を備えています。<sup>4</sup> 帯域幅の向上により 1 つのアクセスポイントでより多くのデバイスに対応でき、ワイヤレスで約 3 倍のギガビット通信速度を実現する最新の 160MHz チャンネルを備えています。<sup>5</sup>

**成果:** インテル® Wi-Fi 6/6E (Gig+) はビデオ会議に必要な性能をユーザーに提供します。そのため、ビデオ会議で大事なプレゼンテーションをしている従業員が、決定的な瞬間にパフォーマンスの不具合が生じるといふ恥ずかしいハプニングに見舞われずに済みます。インテル® Wi-Fi 6/6E (Gig+) は WPA3 セキュリティーで、データ保護、認証、暗号化を強化します。

しかし依然としてユーザーは、生産性やコラボレーション・ワークロードを管理するために適正なツールが必要です。[インテル® Evo™ vPro® プラットフォーム \(英語\)](#) は、ビジネス向けの薄型軽量ノートブック PC にインテル® vPro® プラットフォームの全機能を備えた最高の PC 体験を実現します。<sup>6</sup>

<sup>4,5</sup> 提示されたデータの詳細については [www.intel.com/wifi6disclaimers](http://www.intel.com/wifi6disclaimers) (英語) を参照してください。

<sup>6</sup> 薄型軽量の Windows 搭載デバイスでの、1) インテル® Core™ vPro® i7-1185G7 プロセッサーと AMD Ryzen 7 Pro 4750U を比較し、3 つの主要な用途 (生産性、制作、コラボレーション) での業界のベンチマークと代表的な使用ガイドにおける独自の機能と性能テスト、2) 第 11 世代インテル® Core™ vPro® プロセッサー・ファミリーのインテル® ハードウェア・シールドのセキュリティ機能と、同様の競合テクノロジーを比較した IOActive による調査 (インテルによる依頼) に基づく。すべてのテストは 2020 年 12 月時点のものです。インテル® Evo™ vPro® プラットフォームのデザインは、インテルの包括的なノートブック PC のイノベーション・プログラム、Project Athena の一環として共同開発され、比類のないユーザー体験を確実にするために、その後プレミアム仕様および主要体験指標に対してテスト、測定および検証されています。詳しくは、[www.intel.co.jp/11thgenvpro](http://www.intel.co.jp/11thgenvpro) をご覧ください。実際の結果は異なる場合があります。

インテル® Evo™ vPro® プラットフォームの開発にあたり、次のような課題に直面しました。薄型でスリムなフォームファクターで、IT 部門が必要とするインテル® vPro® プラットフォームの機能を備えつつ、応答性、バッテリー持続時間、瞬時の起動といった面で最高のモバイルユーザー体験を提供するにはどうすればよいかという問題です。

インテル® Evo™ vPro® プラットフォームはスタイリッシュなノートブック PC で、ユーザーと IT 部門のどちらの期待にも応えます。

インテル® Evo™ vPro® プラットフォーム・ブランドの厳格な要件を満たすノートブック PC は、スリープ状態から 1 秒未満での起動が検証されており、安定した応答性を提供できます。バッテリー使用時の応答性は 3 年前のプレミアム・ビジネス・ノートブック PC と比べて平均 40% 向上しています。<sup>7</sup> 30 分の急速充電で 4 時間以上のバッテリー駆動に対応し<sup>8</sup>、ユーザーは実環境で 9 時間以上の使用が可能です。<sup>9</sup> それも、美しい没入型ディスプレイで素晴らしい視覚体験を提供しながら、これだけの持続時間を実現しています。

「インテル® Evo™ vPro® プラットフォームは、ビジネスクラスのセキュリティー機能とリモート管理機能の強化で、究極のビジネス向けノートブック PC 体験を提供し、IT 部門とユーザーのどちらのニーズも満たします」

## 予測可能な安定性について

PC デバイスのライフサイクルといえば、IT 部門がデバイスに画像、適切なソフトウェアや機能をローディングした時点からデバイスの「寿命が来る」時点までと考えられています。IT チームは多様なシステム環境の中でも、組織の資産 PC を維持し、安心してスケールアップし、すべてのシステムを安定運用できる保証を必要としています。

IT 担当者に PC デザインのエキスパートの役割を求めるべきではありません。それだけでなく、彼らはやるべきことが多く、多忙を極めています。このためインテルは、インテルから OEM、IT 部門、そして最終的にはエンドユーザーまでの PC バリューチェーン全体で一貫して最も厳格な基準を維持することを徹底しています。そしてサプライチェーンの優れたセキュリティーに自信を持っています。デバイスが製造や出荷を経て、完全かつ安全な状態でエンドユーザーの手元に届けられると IT チームが確信を持てるのが重要となった現在では、特に大事なことだと考えています。

インテルは PC ライフサイクル全体を通してお客様に満足していただけるよう取り組んでいます。[インテル® ステイブル IT プラットフォーム・プログラム \(インテル® SIPP\)](#) は製品発売から 15 カ月間、マザーボードのシリコン、設計、各物理コンポーネントを含むハードウェア・コンポーネントを一定に保つことを目標としています。IT 部門は、世界中にシステムを供給する際に再検証の心配をする必要がないため、安心して組織をスケールアウトできます。

<sup>7</sup> 実環境における標準的なワークフローを実行したときの、Windows OS ベース上位機種への応答性の測定値 (平均) を、3 年前の同等機種と比較。詳しくは、[www.intel.co.jp/11thgenvpro](http://www.intel.co.jp/11thgenvpro) をご覧ください。実際の結果は異なる場合があります。

<sup>8</sup> OEM デフォルトのシャットダウン・レベルから達成された充電。詳しくは、[www.intel.co.jp/11thgenvpro](http://www.intel.co.jp/11thgenvpro) をご覧ください。実際の結果は異なる場合があります。

<sup>9</sup> 現実的な環境で一般的なワークフローを実行して、バッテリー容量が 100% からクリティカル・レベルまで消費するのにかかった時間。詳しくは、[www.intel.co.jp/11thgenvpro](http://www.intel.co.jp/11thgenvpro) をご覧ください。実際の結果は異なる場合があります。

## 大きな変革

インテルは最新のインテル® vPro® プラットフォームを 2021 年にデビューさせたばかりですが、ニューノーマルの時代に IT 部門が適応していくための新しいツールの開発を継続して行っています。そして引き続きビジネスクラスのパフォーマンス、ハードウェア・ベースのセキュリティ、リモート管理機能、組織の資産 PC の安定性を中心とした取り組みに尽力してまいります。

従業員の在宅勤務が続く中、IT 部門にとって最も安全で管理しやすいデバイスが整っている環境が必要です。同時に、従業員も自分が使用するツールに満足し、生産的に仕事ができなければなりません。

[インテル® vPro® プラットフォームとインテル® Evo™ vPro® プラットフォーム \(英語\)](#) はどちらも、最新の PC テクノロジーを統合した検証済みの PC プラットフォームで、IT 部門とユーザーのどちらのニーズも満たすビジネス向けに構築された比類のないソリューションです。

組織の IT を強力な基盤で運用するためには適正なツールだけ準備しても十分ではありません。IT を取り巻く環境が常に変化している中、新たに始まる **Insights for IT Heroes** シリーズは、分散化が進む世界に対応していくため、各 IT プロフェッショナルが必要とするインサイトを提供し、PC テクノロジーを利用して目的を達成する方法を取り上げていきます。今すぐ[ご登録](#)いただき、システムの運用管理性、パフォーマンス、安定性、セキュリティを向上させる新たな方法についての情報を、IT 担当者としての仕事にお役立てください。



パフォーマンス、セキュリティ、管理機能、安定性を 1 つの PC プラットフォームで実現

従業員に優れたユーザー体験を提供しつつ、生産性の向上、より高いセキュリティの維持、コスト削減のすべてを実現する方法を紹介します。

**インテル® vPro® プラットフォーム**  
について詳しくは[こちら](#) →



インテル® vPro® プラットフォームが中規模企業にもたらす Total Economic Impact™ (TEI: 総経済効果)

インテルの委託で Forrester Consulting が実施した TEI 調査をご覧ください。中規模企業がインテル® vPro® プラットフォームの導入により大幅な費用削減と IT 運用効率の向上を実現している方法を確認できます。

[調査結果の全文を読む](#) →



Insights for IT Heroes

インテルの IT インサイト・ニュースレターにご登録いただくと、最新の PC テクノロジーのトレンド、業界のリーディング・カンパニーや IT 関係者のインサイトなど貴重な情報が得られるほか、役立つツールにアクセスいただけます。

[ご登録はこちら](#) →

インテルのテクノロジーを使用するには、対応するハードウェア、ソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。絶対的なセキュリティを提供できる製品とコンポーネントはありません。実際のコストと結果は異なる場合があります。

Intel、インテル、Intel ロゴ、その他のインテルの名称やロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

